



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社カイゲン

コード番号 8000 URL <http://www.kaigen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩塚 英文

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 和田 直

TEL 06-6202-8972

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,017	△4.2	276	△10.5	308	△11.9	167	△7.0
23年3月期第2四半期	5,238	△4.2	309	△10.8	350	△8.8	180	△13.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	18.75	—
23年3月期第2四半期	20.17	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	12,218	8,397	68.7
23年3月期	11,973	8,264	69.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,397百万円 23年3月期 8,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	△1.2	300	△12.4	330	△16.3	170	△6.8	19.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」を御覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	9,099,303 株	23年3月期	9,099,303 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	155,493 株	23年3月期	155,333 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	8,943,918 株	23年3月期2Q	8,946,161 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想に関する定性的情報」を御覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表等	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、甚大な被害をもたらした東日本大震災や、未だ終息の目途がつかない原発事故に伴う電力使用制限により企業活動が停滞し、さらに米国、欧州の財政不安による世界的な景気の停滞により経済活動が大幅に落ち込み、先行き不透明感が高まる結果となりました。

医療用医薬品市場におきましては、国の厳しい財政状態から、医療費抑制政策による今後の診療報酬がどのように推移していくか不透明な状況にあり、各企業は一層の営業効率化及び合理化が求められる状況となっております。また、一般用医薬品市場におきましても、依然としてデフレによる価格競争に加え、東日本大震災の影響から消費意欲の減退が加速しており、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社は安定した経営基盤の確立とブランド認知度の向上、新商品開発に注力し、市場開拓に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は5,017百万円（前年同四半期比4.2%減）、営業利益は276百万円（前年同四半期比10.5%減）、経常利益は308百万円（前年同四半期比11.9%減）、四半期純利益は167百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。

事業別の業績は次の通りであります。

①医療用医薬品事業

医療用医薬品は、主力の消化性潰瘍・逆流性食道炎治療薬「アルロイドG」は後発品推進施策や東日本大震災の影響により減少しましたが、後発品の「ランソプラゾールOD錠」・「アムロジピン錠」においては引き続き新規取引先の開拓が進むことにより伸長しました。

診断用薬のバリウムと発泡剤につきましては、内視鏡検査への移行による精密検査数や注腸検査数の減少に震災の影響も加わったため減少しました。

医療機器は、昨秋より販売している内視鏡洗浄消毒器「クリーントップWM-S II」の売上が順調に推移し、さらには機器定期点検契約及び機器関連消耗品が伸長しました。

この結果、売上高は3,924百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。

②ヘルスケア事業

一般用医薬品は、営業方針に掲げる重点量販企業との取組み強化を図り、タイアップ企画を推進してまいりました。しかし、一般用医薬品市場全体の継続的な消費低迷と、夏場の節電による買い控え等の短期的要因が重なり、当社主力商品である風邪薬群も売上を伸ばすには至りませんでした。

健康食品は、当初から震災の影響による減少は織り込んでおりましたが、その後、全国的な消費の冷え込みから通販部門の減少幅が大きく、当初の予測を下回る結果となりました。また、新商品の上市が遅れたことも業績に影響を及ぼし売上は減少しました。

この結果、売上高は1,093百万円（前年同四半期比11.2%減）となりました。

平成23年7月1日より指揮系統を統一することで商品及び人材の共有化、ブランド力の再構築を図るために、従来の「一般用医薬品部門」と「健康食品部門」を統合し「ヘルスケア事業」に組織変更をしております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は12,218百万円（前事業年度末11,973百万円）となり、前事業年度末に比べ245百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加などによるものであります。

また、負債は3,821百万円（前事業年度末3,708百万円）となり、前事業年度末に比べ112百万円の増加となりました。主な要因は、買掛金の増加、未払費用及び退職一時金制度の一部について確定拠出年金制度へ移行したことによる退職給付引当金の減少などによるものであります。

純資産については、8,397百万円（前事業年度末8,264百万円）となり、前事業年度末に比べ133百万円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益の計上による増加及び配当金の支払いなどによる減少であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回公表時（平成23年5月12日）に想定した予想に沿った業績で推移しておりますので、修正しておりません。

今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,168,022	4,031,458
受取手形及び売掛金	4,057,656	4,562,767
商品及び製品	592,754	501,199
原材料及び貯蔵品	73,147	67,166
その他	116,731	128,582
貸倒引当金	△9,000	△10,000
流動資産合計	8,999,312	9,281,175
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,785,941	1,788,141
その他(純額)	603,290	569,409
有形固定資産合計	2,389,231	2,357,550
無形固定資産		
	59,662	52,656
投資その他の資産		
その他	533,208	532,375
貸倒引当金	△8,214	△4,973
投資その他の資産合計	524,993	527,401
固定資産合計	2,973,887	2,937,609
資産合計	11,973,200	12,218,784
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,128,136	2,417,839
未払法人税等	102,140	144,861
賞与引当金	165,000	185,000
その他の引当金	41,712	39,351
その他	588,620	479,350
流動負債合計	3,025,610	3,266,402
固定負債		
退職給付引当金	611,512	481,567
その他の引当金	25,905	26,295
その他	45,852	46,846
固定負債合計	683,269	554,709
負債合計	3,708,880	3,821,111

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,364,609	2,364,609
資本剰余金	2,113,414	2,113,414
利益剰余金	3,833,292	3,965,255
自己株式	△64,447	△64,502
株主資本合計	8,246,869	8,378,776
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,450	18,896
評価・換算差額等合計	17,450	18,896
純資産合計	8,264,320	8,397,672
負債純資産合計	11,973,200	12,218,784

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,238,989	5,017,724
売上原価	3,134,861	2,974,979
売上総利益	2,104,128	2,042,745
返品調整引当金繰入額	1,000	1,000
差引売上総利益	2,103,128	2,041,745
販売費及び一般管理費	1,793,862	1,765,056
営業利益	309,265	276,688
営業外収益		
受取利息	4,288	1,074
受取配当金	29,971	30,088
その他	12,714	10,894
営業外収益合計	46,974	42,057
営業外費用		
支払利息	67	64
寄付金	3,245	8,755
その他	2,473	1,188
営業外費用合計	5,785	10,007
経常利益	350,454	308,738
税引前四半期純利益	350,454	308,738
法人税等	170,000	141,000
四半期純利益	180,454	167,738

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

(単位：千円)

事業部門	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	増減	
	金額	金額	金額	増減率 %
医療用医薬品事業				
医療機器	520,408	75,046	△445,362	△85.6

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 商品仕入実績

(単位：千円)

事業部門	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	増減	
	金額	金額	金額	増減率 %
医療用医薬品事業				
医薬品				
消化器に作用する薬剤	656,811	619,708	△37,102	△5.6
診断用薬	1,280,369	1,192,296	△88,072	△6.9
計	1,937,181	1,812,005	△125,175	△6.5
医療機器	124,001	337,455	213,453	172.1
その他	110,892	101,021	△9,870	△8.9
合計	2,172,075	2,250,483	78,407	3.6
ヘルスケア事業				
一般用医薬品				
医薬品				
神経系、呼吸器系及び循環器系に作用する薬剤	365,155	315,167	△49,987	△13.7
消化器に作用する薬剤	51,434	47,762	△3,671	△7.1
保健栄養強壮剤	15,459	23,842	8,383	54.2
その他	12,207	12,863	655	5.4
小計	444,256	399,636	△44,619	△10.0
医薬部外品	280	—	△280	△100.0
その他	37,379	55,509	18,129	48.5
計	481,916	455,145	△26,770	△5.6
健康食品	216,838	179,317	△37,521	△17.3
合計	698,755	634,463	△64,291	△9.2
総合計	2,870,830	2,884,946	14,115	0.5

(注) 1 金額は、仕入価格によっております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3 商品仕入総合計額のうち、堺化学工業(株)より次の通り仕入れております。

前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
2,095,579千円	1,917,054千円

- 4 平成23年7月1日より指揮系統を統一することで商品及び人材の共有化、ブランド力の再構築を図るために、従来の「一般用医薬品部門」と「健康食品部門」を統合し「ヘルスケア事業」に組織変更しております。

③ 販売実績

(単位：千円)

事業部門	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	増 減	
	金 額	金 額	金 額	増減率 %
医療用医薬品事業				
医薬品				
消化器に作用する薬剤	1,198,863	1,110,009	△88,853	△7.4
診断用薬	2,003,353	1,920,841	△82,512	△4.1
計	3,202,217	3,030,851	△171,365	△5.4
医療機器	677,788	769,026	91,238	13.5
その他	127,297	124,513	△2,784	△2.2
合計	4,007,303	3,924,390	△82,912	△2.1
ヘルスケア事業				
一般用医薬品				
医薬品				
神経系、呼吸器系及び循環器系に作用する薬剤	733,154	665,071	△68,082	△9.3
消化器に作用する薬剤	59,869	61,812	1,942	3.2
保健栄養強壮剤	17,425	19,374	1,949	11.2
その他	36,010	24,635	△11,374	△31.6
小計	846,459	770,894	△75,565	△8.9
医薬部外品	712	576	△135	△19.0
その他	67,949	70,803	2,854	4.2
計	915,120	842,274	△72,846	△8.0
健康食品	316,565	251,059	△65,505	△20.7
合計	1,231,686	1,093,334	△138,352	△11.2
総合計	5,238,989	5,017,724	△221,264	△4.2

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

- 2 平成23年7月1日より指揮系統を統一することで商品及び人材の共有化、ブランド力の再構築を図るために、従来の「一般用医薬品部門」と「健康食品部門」を統合し「ヘルスケア事業」に組織変更しております。